



「ごみの出し方」現状を訴えての
住民要望に対する村の考えは？

光風会 恵利 いつ 議員

議員 7月に行われた

村政懇談会において、
ごみの出し方について
要望があったが、どの
ような検討がされたの
か。また、転入された
方々がごみ集積所に
困ったときの対応はど
のように考えるか。

経済環境部長 ごみ集積所を設置しやすいように今年度から設置措置要件を緩和し、原則10軒以上から、自治会加入を条件として5軒以上とした。また、公共施設の敷地や村有地を貸し出し可能か各関係課と協議中。自治会連合会とも連携を図りながら、年度内には方

向性を示したい。

議員 来年5月から稼働予定の広域ごみ焼却場への直接搬入について、ひたちなかまでの距離を考えると、搬入のための中継基地を村内に設けるほうが良いと議会でも取り上げてきたが、その後どのように検討がなされたのか。

経済環境部長 ひたちなか・東海クリーンセンターの試験運転が今年12月から来年4月まで行われる。一般の持ち込みは、4月末までは現在どおり村の清掃センターへ、5月からは新しいクリーンセン

ターへ搬入となる。集積所用地が見つからない方については、暫定的に清掃センターの集積所に置くことができな

い方については、暫定的に清掃センターの集積所に置くことができな

い方については、暫定的に清掃センターの集積所に置くことができな

い方については、暫定的に清掃センターの集積所に置くことができな

い方については、暫定的に清掃センターの集積所に置くことができな



舟石川近隣公園の整備計画

みらいの会 舛井 文夫 議員

議員 駅西区画整理地

内で素鷲神社に隣接する舟石川近隣公園は、1万2000㎡、約3600坪の広い都市公園ですが、今後の整備スケジュール、地元要望の調整を含めてどのように進めるのか。

建設水道部長 今の進捗状況は、駅西第二区画整理事業として補償交渉を進めています。近いうちに契約が成立する見込みで、平成24年度に外周の整備を一部行います。整備の進め方は、整備委員会を立ち上げ、計画の段階から地元の方々を含めて十分協議し、地元の

ニーズに沿った公園を

考えています。併せて、緑地を保全して、既存の樹木を残して、高齢者などに配慮し、地域防災計画との整合性を図りながら、防災公園としての公園づくりを考えています。

一方で、ごみ集積所の用地は、確保が困難であり、住民の方が大変困っています。現在でも、資源回収場所として使用しており、一般ごみ集積所としての活用も地元と協議していきます。いずれにしても、幼児から老人までのすべての年齢層の利用を考えた都市計画

上の基本的な公園ととらえ、最近希薄になりつつあるコミュニティ社会の形成に役立つような公園づくりを目指します。

議員 公園予定地の近くでは、お年寄りがゲートボールに使用しています。区画整理地内に多くの公園がありますが、お年寄りが集まっているのは、あまり見かけません。人が集まり、お年寄りが外へ出てみたくなる魅力ある独創的な発想を持って、認知症予防対策を担当する福祉部と連携を密にした公園整備を強く要望します。